

支那の画

芥川龍之介

青空文庫

松樹図

雲林を見たのは唯一つである。その一つは宣統帝の御物、今古奇觀と云ふ画帖の中にあつた。画帖の中の画は大部分、薰其昌の旧蔵に係るものらしい。

雲林筆と称へる物は、文華殿にも三四幅あつた。しかしその画帖の中の、雄劉な松の図に比べれば、遙かに画品の低いものである。

わたしは梅道人の墨竹を見、黄大癡の山水を見、王叔明の瀑布を見た。

(文華殿の瀑布図ではない。陳宝琛氏蔵の瀑布図である) が、氣稟の然らしむる所か頭の下つた事を云へば、雲林の松に及ぶものはない。

松は尖つた岩の中から、真直に空へ生え抜いてゐる。その梢には石英のやうに、角張つた雲煙が横はつてゐる。画中の景はそれだけである。しかしこの幽絶な世界には、雲林の外に行つたものはない。黄大癡の如き巨匠さへも此処へは足を踏み入れずにしまつた。況や明清の画人をやである。

南画は胸中の逸気を写せば、他は措いて問はないと云ふが、この墨しか着けない松にも、

自然は髣髴と生きてゐるはしないか？ 油画は真を写すと云ふ。しかし自然の光と影とは、一刻も同一と云ふ事は出来ない。モネの薔薇を真と云ふか、雲林の松を仮と云ふか、所詮は言葉の意味次第ではないか？ わたしはこの図を眺めながら、そんな事も考へた覚えがある。

蓮鷺図

志賀直哉氏の蔵する宋画に、蓮花と鷺とを描いたのがある。南蘋などの蓮の花は、この画よりも所謂写生に近い。花瓣の薄さや葉の光沢は、もつと如実に写してある。しかしこの画の蓮のやうに、空靈澹蕩たる趣はない。

この画の蓮は花でも葉でも、悉どつしり落ち着いてゐる。殊に蓮の実の如きは、古色を帯びた絹の上に、その実の重さを感じしめる程、金属めいた美しさを保つてゐる。鷺も唯の鷺ではない。背中の羽根を逆に撫でたら、手の平に羽先がこたへさうである。かう云ふ重々しい全体の感じは、近代の画にないばかりではない。大陸の風土に根を下した、隣邦の画にのみ見られるものである。

日本の画は勿論支那の画と、親類同士の間からである。しかしこの粘り強きは、古画や南画にも見当らない。日本のはもつと軽みがある。同時に又もつと優しきがある。八
大たいの魚いや新羅しんらの鳥とりさへ、大雅たいがの巖いわ下に遊あそんだり、蕪村ぶそんの樹上じゆじやうに棲すんだりするには、余りに逞たくましい気がするではないか？ 支那の画は実に思ひの外ほか、日本の画には似てゐないらしい。

鬼趣図

天津てんしんの方ほう若じやく氏のコレクシヨンの中に、珍しい金冬心きんとうしんが一幅あつた。これは二尺に一尺程の紙へ、いろいろの化け物を描かいたものである。

羅らりやうほう兩峰りやうほうの鬼趣きしゆづ図とか云ふのは、写真版になつたのを見た事があつた。兩峯は冬心とうしんの御弟子おでしだから、あの鬼趣図のプロトタイプも、こんな所にあるのかも知れない。兩峯の化け物は写真版によると、妙ぶに無気味きみな所があつた。冬心のはさう云ふ妖氣えうきはない、その代りどれも可愛げがある。こんな化け物があるとすれば、夜色も昼よりは明るいであらう。わたしは蕭々せうせうたる樹木あひだの間に、彼等むらがの群つたのを眺めながら、化け物も莫迦ばかには出来な

いと思つた。

何とか云ふ独逸出来の本に、化け物の画ばかり集めたのがある。その本の中の化け物などは、大抵見世物の看板に過ぎない。まづ上乘と思ふものでも何か妙に自然を欠いた、病的な感じを伴つてゐる。冬心の化け物にそれが無いのは、立ち場の違つてゐる為のみではない。出家庵粥飯僧の眼はもう少し遠方を見てゐたのである。

古怪な寒山拾得の顔に、「靈魂の微笑」を見たものは、岸田劉生氏だったかと思ふ。もしその「靈魂の微笑」の蔭に、多少の悪戯を点じたとすれば、それは冬心の化け物である。この水墨の薄明りの中に、或は泣き、或は笑ふ、愛すべき異類異形である。

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

支那の画

芥川龍之介

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>